

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 11 月 7 日 (2013.11.7)

【公開番号】特開 2012-74965 (P2012-74965A)
 【公開日】平成 24 年 4 月 12 日 (2012.4.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-015
 【出願番号】特願 2010-218988 (P2010-218988)
 【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 4 B 7/005 (2006.01)

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 B 7/005

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 9 月 25 日 (2013.9.25)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

伝搬路推定を行う伝搬路推定部を備え、
前記伝搬路推定部は、
伝搬路適合度を向上させる順番にパスを検出する処理を繰り返すパス検出部を備え、
前記伝搬路適合度として、
伝搬路推定値と受信信号の適合の度合いと、前記パスの数に基づいたペナルティの和を
用いること、
を特徴とする受信装置。

【請求項 2】

前記パス検出部は、前記伝搬路適合度を向上できるパスが無くなるまで、パスを検出する
処理を繰り返すことを特徴とする請求項 1 に記載の受信装置。

【請求項 3】

前記パス検出部は、1 パスずつ検出を行うこと、
を特徴とする請求項 2 に記載の受信装置。

【請求項 4】

前記パス検出部は、前記伝搬路適合度を向上できないパスを候補から削除する処理をさ
らに備えること、
を特徴とする請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項に記載の受信装置。

【請求項 5】

前記パス検出部は、前記ペナルティを、前記パイロットシンボルの配置周波数に基づい
て算出すること、
を特徴とする請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の受信装置。

【請求項 6】

前記パス検出部は、前記ペナルティを、前記パイロットシンボルの時間波形に基づいて
算出すること、
を特徴とする請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載の受信装置。

【請求項 7】

伝搬路推定を行う伝搬路推定ステップを備え、
前記伝搬路推定ステップは、
伝搬路適合度を向上させる順番にパスを検出する処理を繰り返すパス検出過程を備え、
前記伝搬路適合度として、
伝搬路推定値と受信信号の適合の度合いと、前記パスの数に基づいたペナルティの和を
用いること、
を特徴とする受信方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の受信方法をコンピュータに実行させるための受信プログラム。